

「AL型授業に参加が難しい生徒・学生への対応について」話しあおう

発達障害のアセスメントとその対応

河合塾



発達心理学・学校心理学
の成果を生かして

2019.5.11 ゆあさとしお



はじめに

- 1 **アイスブレーキング**
- 2 **クロスロードで事例研究**
- 3 **発達障害の概要**
- 4 **グループで対話する**
- 5 **全体で共有する**

おわりに

目 次

発達障害の概要 アセスメントと対応

1 発達障害とはどのようなものか？

2 見取り図

3 ASD(自閉スペクトラム症)

4 ADHD(注意欠陥・多動障害)

5 LD(学習障害)

6 DCD(発達性協調運動症)その他

まとめ

発達障害の概要

Q.発達障害とはどのようなものか？

○生まれつきの脳の機能障害

○ものの見方や感じ方に偏り、こだわり

○コミュニケーションの障害

言語的/非言語的

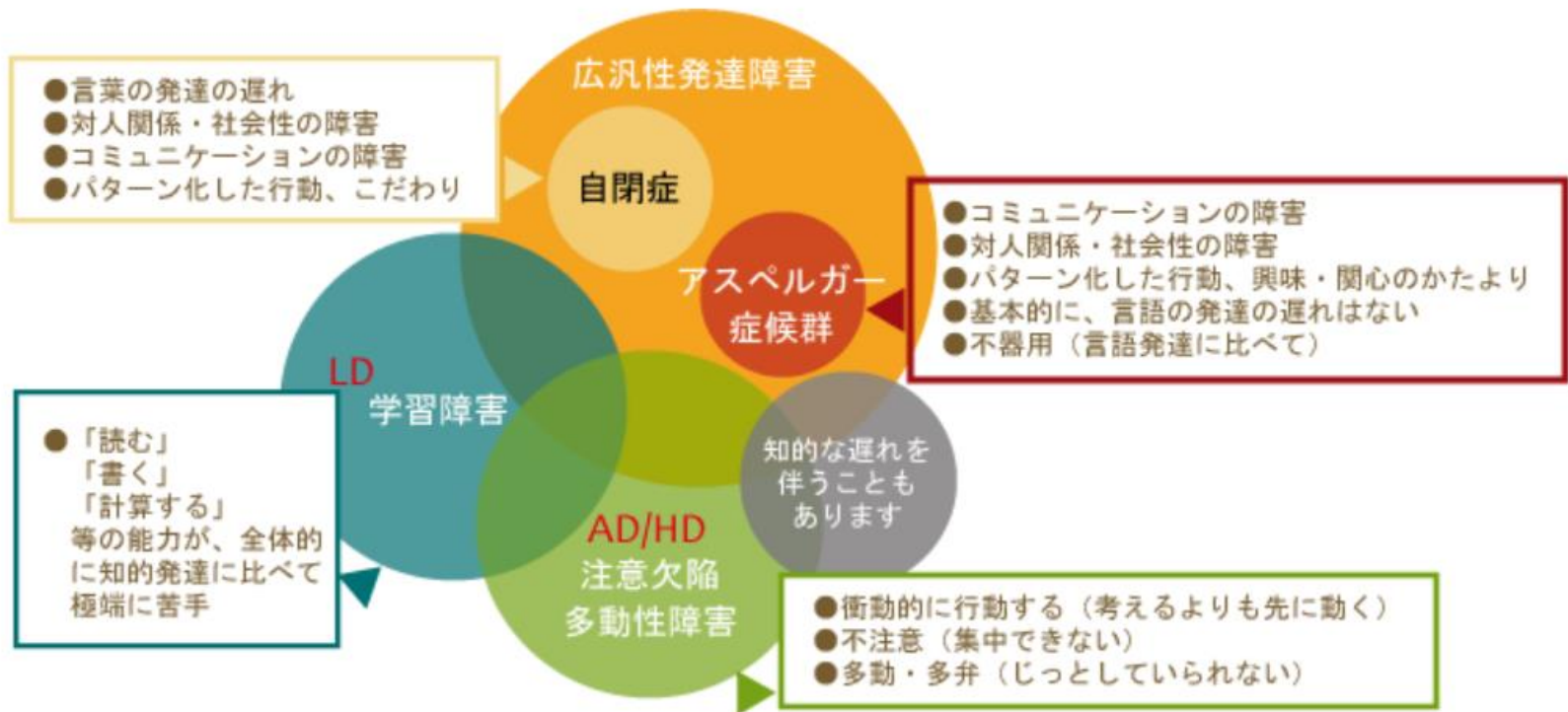
○イマジネーションの障害

相手の気持ちが分からない

○感覚刺激への異常反応

Q. 発達障害はいつから認知されるようになった？

発達障害とは？



見取り図(文科省のHPより)

Q.発達障害は増えているのか？

- 文科省の統計では、1/16
- 教師の実感では、1/10以上
- 生まれつきのものなら増加しない
- 似た症状を示すのは
 - ・愛着障害
 - ・TVとパソコンがもたらす影響
 - ・慢性的な睡眠不足

発達障害は増加しているのか

Q.ASDの特徴は？自閉症とアスペルガーの関係は？

- 興味や関心が狭い範囲に限られる/こだわりが強い
- コミュニケーションの難しさ/社会性の無さ
- 想像力の欠如/相手の気持ちが読めない
- DSM-IVでは、「自閉症障害」と「アスペルガー障害」とは区別されていた。
- しかし、分類することの意味を明確にすることができず、DSM-5では自閉スペクトラム症とひとまとめになる。
- 自閉スペクトラム症の中にもいろいろな形がある。
- 違いを見つけるとすれば「言葉のおくれ」の有無かも。

自閉スペクトラム症

Q.ADHDの特徴は？

- 落ち着きがない
- 間違いが多い
- 気が散りやすい
- 席を離れる/じっとしてられない
- 順番を待てない

○ASD、LDとの重なりも多く見られる

ADHDの特徴

Q.LD(学習障害)は学習能力がないのか？

- ・学習障害は学習意欲がないわけではない。
- ・しかし、学習環境が整っていても、「読み・書き・計算」など、特定の領域についての習得困難が認められるものがある。
- ・こういう障害を「時局性学習症」と呼ぶ。

LD (学習障害)

(付け足し)発達障害と二次障害

- ・繰り返しになるが、「発達障害」とは、「生まれつきの脳の機能障害」によって、「ものの見方や感じ方に偏り、こだわり」が生じるというものであった。
- ・より具体的には、「コミュニケーションの障害」「イメージーションの障害」によって、「相手の気持ち分からない」、人によっては「感覚刺激への異常反応」が起きるというものであった。
- ・これらの特性を周囲がよく理解し、適切な対応をしてくれればよいのであるが、多くの場合そうはいかず、周囲から虐待されたり、阻害されたりすることもある。
- ・そのことで、不登校になったり、PTSDになったりすることがある。

発達障害と二次障害

○おすすめの参考書

- 『発達障害サポート入門 幼児から社会人まで』古荘純一2018(教文社)
- 『発達障害と呼ばないで』岡田尊司(幻冬舎新書)
- 『発達障害』岩波明(文春新書)
- 『天才と発達障害』岩波明(文春新書)
- 『子どもの発達障害 家族応援ブック』高貝就2014(株式会社法研)
- 『天才と発達障害 映像志向のガウディと.....』岡南2010(講談社)
- 『発達障害をめぐって』神田橋條治2018(岩崎学術出版社)
- 『防災ゲームで学ぶリスク・コミュニケーション』矢守克也(ナカニシヤ出版)
- 『クロスロード・ネクスト』吉田肇子ほか(ナカニシヤ出版)

参考書

私の好きな言葉

「本日も順調に
問題あり」

向谷地生良

(べてるの家の運営者)



おわりに

